

壁紙施工要領書  
- V I L L A ・ V E C C H I A ・ 紙壁紙 -

【該当品番】(2013 - 2017WD)

LY-14089~14107

■特長

- 
- ・材料によって程度の違いがありますが、紙壁紙共通の特色である透湿性、伸縮性を持っています。
  - ・あらかじめ両耳断ち（スリッター加工）をしていますので、基本的に突きつけ施工で納めてください。
  - ・有効幅が国産の壁紙よりも狭く（68.5cm幅）なっています。

■下地調整

- 
- ・薄い材料が多いため下地の不陸を拾いやすく、したがって入念な下地調整が要求されます。
  - ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は除去するようにしてください。
  - ・パテは下地と同色の樹脂入りのものを使用してください。

■接着剤

- 
- ・糊付け機の使用について特に問題はありません。
  - ・接着剤は、原液タイプをお勧めします。希釈タイプ使用の場合は、エチレン酢ビ系ボンドを混合してください。また、糊：水＝10：6を目安にして少なめに塗布してください。（このエチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要になります。）

■養生・オープンタイム

- 
- ・接着剤塗布後は、うませ時間を10～15分程度、施工可能時間は40分以内を目安に作業を進めてください。
  - ・タタミジワを防ぐため、糊付け後は必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

## ■張り付け・ジョイント

---

- ・ジョイント部は、スリッターをかけて耳断ちしているため、基本的には突きつけで納めることになります。
- ※一般に輸入壁紙は、国産のものと違いユーザーがDIYセンター等で購入して自分で張る、ということが主流になっています。
- ・表面が傷つきやすいため、なで付けは柔らかめの刷毛を使用し、ていねいに行なってください。
- ・粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、なるべく使用は控えるようにしてください。

## ■施工後

---

施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。